

馬・羊混合プラセンタ純末

EPE SR にはバインダーなどを使用しない馬・羊プラセンタ混合純末が配合されています。全ての規格成分は、目的成分としての規格値で正しく配合計算設計されており、健康食品でよくある低純度規格原料によるごまかし配合のない、メディカル品質の設計開発がされています。



▶ 馬プラセンタ純末

馬胎盤は生物分類上では散剤胎盤に分類されます。EPE SR では丁寧に脱血洗浄された臍帯部位を含む胎盤の高分子量タンパク質構造を低次のペプチド・アミノ酸まで加水分解処理し、消化状態に影響されずにすぐに吸収利用される純末が使用されています。

▶ 羊プラセンタ純末

羊胎盤は生物分類上では胎盤葉胎盤に分類されます。構造上胎盤葉を加水分解する場合、ヘモグロビンを分解してヘム鉄が得られます。その為褐色が残る加水分解末となります。馬由来同様低分子まで分解されているため、高次蛋白質に懸念される型の問題が少なく、体内内分泌での合成をサポートします。

✓ 馬・羊の選定理由

プラセンタ末の種類にはヒト、豚、馬、羊、牛、鹿など多くの種類が存在します。開発にあたり優先されたのは、世界の医療・医薬品での利用実績とエビデンスです。生物由来製剤の中でも、馬由来生物製剤はエストロゲン、羊（胎児）由来製剤・薬剤では幹細胞や加水分解抽出物などの利用履歴があり、エビデンスがはっきりとしています。胎盤あるいは胎児側組織由来薬剤を比較すると豚、牛、鹿由来品には研究論文・臨床経験・実績などエビデンスが乏しく、開発目的が得られ難いことから研究時点で除外された経緯があります。また、ヒト由来品は優秀ですが、一方でドナーの安全性管理や用途の制限、何よりも高コストから除外され、衛生・疾病管理が行き届きやすくコスト管理がされている畜産由来が選定されました。

Clinical Nutrition
EPE-SR スーパープラセンタ D メディカルサプリメント

名称：プラセンタ含有食品
原材料名：馬胎盤加水分解物（国内製造）、羊胎盤加水分解物、黒胡椒抽出物／結晶セルロース、HPMC、ビタミンD、ステアリン酸カルシウム、微粒二酸化ケイ素、カラメル
内容量：60粒
賞味期限：3年

1日2粒～6粒を目安に、水と共にお召し上がりください。

原材料に含まれるアレルギー物質（27品目中）
なし

GMO 遺伝子組み換え食品使用の有無
なし

栄養成分表示（100g中）

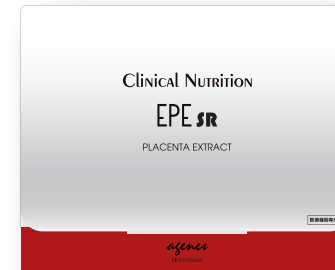
エネルギー	374kcal
たんぱく質	32.4g
脂質	2.4g
炭水化物	55.8g
食塩相当量	2.4g

業務用 MADE IN JAPAN

詳しくは当院スタッフまでお尋ねください。

Clinical Nutrition
EPE SR

PLACENTA EXTRACT

EPE-SR スーパープラセンタ D
メディカルサプリメント

60カプセル入り

afenes
BIOPHARMA

スーパープラセンタ D+

EPE SR は、高品質な馬胎盤・臍帯・羊膜加水分解末と羊胎盤・臍帯・羊膜加水分解末をベースに配合した安全性の高いプラセンタ純末に、吸収効率を高めるピペリン、代謝効率を高めるビタミン D3 を配合した、高品位メディカルプラセンタカプセルです。

▶ 2カプセルあたりの主要成分配合規格

プラセンタ末	330mg
ビタミンD3	39μg

▶ のみやすいカプセルタイプ

独特の臭いを抑え、高齢者や女性でもすつと飲みやすい小型タイプのカプセルです。

▶ 吸収利用効率の追求

丁寧に加水分解抽出による低分子構造と適量ピペリンの絨毛血流向、ビタミンD3により、経口でもこれまでにない吸収効率と利用代謝効率を目指して開発されました。

▶ 持ち運びやすいスリムパッケージ

バッグにもすっきり入る、持ち歩きやすい薄型パッケージです。

▶ GMP

GMPにより安全・品質管理がされた製造ラインで作られています。

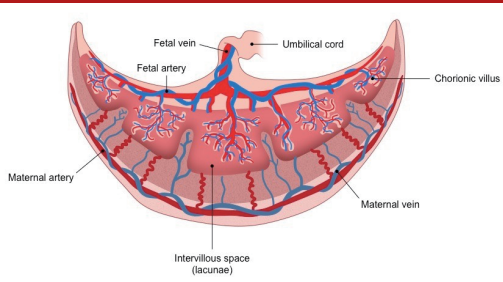
▶ 豊富な研究データ

長年の臨床研究、学術研究により、様々な臨床データがあります。詳しくは医師までご相談ください。

プラセンタとは

胎盤を英語で PLACENTA と言います。哺乳類の妊娠期特有の期間限定の組織です。

おおまかに臍帯・羊膜・絨毛部から構成されており、大きく生物種類では盤状胎盤、帯状胎盤、散剤胎盤、胎盤葉胎盤の4種類に分類されます。ヒトは盤状胎盤、ウマは散剤胎盤、羊は胎盤葉胎盤ですが、機能はほぼ同じなので、胎児の成長と母体の出産に備えた体づくりを支える器官です。



胎盤の重要な機能の一つ目はお母さんと赤ちゃんの栄養・不要物の交換です。両者の間は直接血管ではつながっておらず、抹消血管の絨毛部分からフィルターを通して血液成分の交換を行います。血液型の違う親子でも重篤な拒絶アレルギー反応が起きないようにしており、赤ちゃんの成長を支えています。また、胎盤からは特有のHLA-G抗原が見つかっており、免疫寛容による安全性を保つ機能もあります。その為、胎盤由来細胞や胎盤切片を他者に移植しても拒絶反応が起こりません。

もうひとつの重要な機能は、赤ちゃんとお母さんの体を支える機能です。母体に向けての胎盤内分泌(ホルモン産生)はヒト絨毛性ゴナドトロピン、ヒト胎盤性ラクトゲン、プロゲステロン、エストロゲンなどです。乳腺発達、妊娠維持、女性ホルモンの増加、精神安定などを行います。妊娠中キレイになるということがありますが、女性ホルモンなどの分泌が大きく増えることが一つの理由と言われています。また、成長因子サイトカインも豊富に見つかっており、赤ちゃんの急激な成長を支えています。

プラセンタ末を使用していると改善してゆく様々なことは、これら元々の胎盤の機能から来ています。

古来のへその緒を大切に保管し、子供が病気になる時に煎じて飲むという習慣や、動物が出産後に胎盤を食べる行為も、含まれる栄養素による恩恵をよく知っていたからかもしれませんね。

✓ 植物プラセンタ・魚プラセンタ??

植物プラセンタは胎盤ではなく胎座という部分を指します。発芽を促進する成分を作り出す組織です。一方魚プラセンタ(海洋プラセンタ)は魚の卵黄膜の部位を指しています。いずれにしても哺乳類の成長を支える成長印紙となるサイトカインは含まず、全く別の目的栄養素としての使い方になり、一般的にプラセンタ(胎盤抽出物)とは違うものとなります。

ホルモンとエイジング

ホルモン(内分泌)とは、健康を保ったり、体を作る役割をもつ情報伝達物質です。大人なるまで急激に増加し、ピークを境に体内産生量は減少してゆき老化の原因の一つとなります。女性ホルモンのピークは30歳前後で更年期を境に急激に減少し、男性ホルモンは20歳前後をピークにゆっくりと減少。成長ホルモンのピークは18歳をピークに加齢と共に減少し続けます。成長ホルモンの前駆体となる成長因子も同様です。

抗加齢医学が発展するきっかけとなったのが、ヒト成長ホルモンの投与により若返りの減少が発見されたことにありました。しかし、ホルモン物質の高分子ナック質は副作用も大きく、長期間使用の安全性に課題ができました。

減少してゆくホルモン産生の量を増やしたい、又は外部から補う際の副作用を低減したいという課題は、未だ全ての解決ができていませんが、補う為の手法はいくつもみつかりました。

第一が生活習慣です。同じ年齢でも老化が進んでいる人とそうでない人がいますが、これは生活の質、QOLの差が大きいです。

主に食事(栄養)、運動、睡眠の3つの要素と質で老化進行に20%以上の差がでることがわかっています。適切な食事・運動・睡眠は老化だけでなく生活習慣病のリスクにも関係しており、若く長く健康を保つために重要です。

第二が体内でのホルモン産生をサポートする物質です。直接ホルモン物質を投与するよりも、ホルモン産生を導く前駆体を投与する方がバランスや産生量を保ちやすいことがわかりました。そのうちの大切な要素物質が、サイトカイン(成長因子)です。サイトカインには多くの種類がありますが、総じて特定のホルモンを分泌するための命令物質として働き、加齢と共に減少するホルモン産生量をサポートすることがわかっています。

ホルモンと睡眠

生活習慣の中でも、特にホルモン分泌との関係が深いのが睡眠です。ヒトは睡眠に入ってからおおよそ2時間後をピークにホルモンを多く分泌します。睡眠中に分泌されるホルモンは体の成長や、回復、維持などに使われ、健康だけでなく見た目の美容や老化防止に役立ちます。

睡眠が不足すると体調を崩したり、肌の調子が悪くなるのは、大切な体の修復タイムを損なっているからです。

また、時刻では深夜2時がホルモン分泌のピークで、夜の11時から3時くらいがホルモンのゴールデンタイムと言われます。

規則正しい睡眠と、一回7時間の睡眠時間を注意するだけでも十分に過度な老化を防ぐ生活習慣になります。

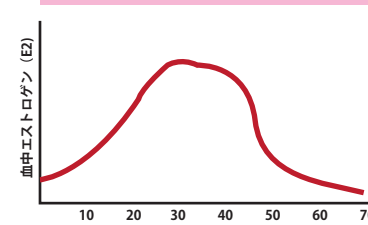
内分泌と必要な栄養をサポート

バランスのよい食事や目的に応じた栄養素の選択はとても重要です。プラセンタ末には、アミノ酸・ビタミン・ミネラルを始めとし5000種類ともいわれる豊富な栄養素が含まれ、優秀な総合栄養剤です。

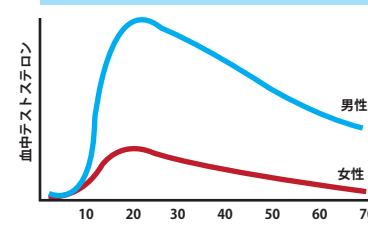
また、プラセンタには多様なサイトカイン(成長因子)が含まれており、加齢と共に衰える、或いは生活習慣で乱れるホルモンバランスをケアする優秀なサポーターとなります。

食生活習慣や睡眠生活習慣のサポートを行い、美容健康のQOLを高めるサポートの優秀なパートナーがプラセンタです。

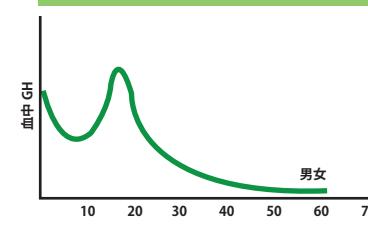
女性ホルモン分泌レベル年代推移



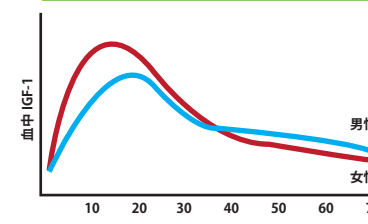
男性ホルモン分泌レベル年代推移



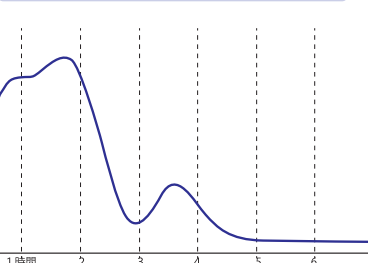
成長ホルモン分泌レベル年代推移



IGF-1(成長因子)分泌レベル年代推移



睡眠開始からの成長ホルモン分泌量の変化



サイトカイン

プラセンタに含まれる最も特徴的な物質が、サイトカインです。

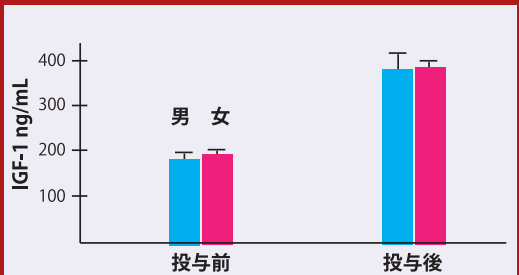
サイトカインには、主に成長を制御するグロースファクターと、免疫を制御するインターロイキン、幹細胞を増殖させるインターロイキン、顆粒級・マクロファージなどのコロニー形成因子などがあります。

サイトカインは少量で非常に強い作用を示し、加齢によりダメージを受けたり、損傷した部位の再生や新陳代謝を促します。年齢と共に成長力は衰え、代謝スピードが低下したり、健康な細胞数が減少しおよそ65%の細胞数を下回ると、人間は死に至ると言われています。

胎盤はヒトの一生の中で、最も成長速度の高い胎児期を支える器官であり、たった一つの卵細胞を、10か月で3兆個まで分裂させる大切な時期に、成長に必要な全ての栄養素や成長を促すサイトカインを送り込んでくれます。

プラセンタ抽出物を投与すると、体内サイトカインの産生を促進し、また適切な量に調整することがわかっています。

下図は、成長のマーカーとなるIGF-1(インスリン様成長因子)分泌量の変化を測定した結果で、プラセンタ投与により、倍近いIGFが産生された例です。



胎盤から見つがっているサイトカインの例

- HGF:肝細胞増殖因子
- NGF:神経細胞増殖因子
- EGF:上皮細胞増殖因子
- FGF:線維芽細胞増殖因子
- IGF:インスリン様成長因子
- VEGF:血管内皮細胞増殖因子
- TGF:形質転換増殖因子
- PDGF:血小板由来成長因子
- CSF:コロニー形成刺激因子
- IL-1:インターロイキン1
- IL-2:インターロイキン2
- IL-3:インターロイキン3
- IL-4:インターロイキン4